

いよいよ一ヶ月前に迫りました「村上栄二」県政報告会」。今回は少しだけ講演内容をお見せします。

① 1億5千万円の予算で十一億円の経済効果を生んだ政策

行政の特徴としてお金をいくらか使うのか？という手続き主義となりがち。経済循環としてどのように波及していくのかという説明が必要。

② 泉大津市のパークPFIIはここが違う。

事業の方向性と位置づけ、ビジョンづくりの明確化が地域の歴史となる。

(パークPFIIとは民間事業のノウハウを活かして飲食店や売店等の公園施設を管理し、施設から得られる収益を公園整備に還元する事を条件に特例措置が適用される。)

福山市を含めた多くの都市部で公園の在り方が問われている。泉大津市の都市公園整備事業ではヘルシーパーク(自分の身体は自分で整える)をテーマに焦点を絞って事業を取り組む。福山築城四百年も盛り上がりを見せているが事業の方向性と位置づけが明確でなければ1年後に何が残るのか？ビジョンが見えた上で福山市のひとつひとつの事業を進めるべきだ。

意見広告

南出市長との講演会 ちよつとだけ 予告

10月24日(月)

19:00~20:30 (18:00受付開始)
広島県民文化センターふくやま
〒720-0065 広島県福山市東桜町1-2



📄 お申し込みはコチラから

チケット予約制

定員に達し次第締切とさせていただきます。



講話
村上栄二
(広島県議会議員)



ゲスト講話
南出賢一
(大塚府泉大津市長)

入場
無料

広島県議会議員

村上栄二 県政 報告会

インフレと
内需縮小時代の切り札。
政治における
「良いバラマキ」と
「悪いバラマキ」。



③ コロナには予防・感染初期・感染期・回復期・後遺症対策という5つのフェーズに分かれ政策に対する考え

行政はワクチン接種に対する説明責任をどこまで果たしているのか。

泉大津市ではHPで南出市長自らのワクチンに対するユーチューブ発信、泉大津市としてワクチンの安全性と副反応についての説明を加え国任せにしない。

子どものワクチン接種に関する資料を相当数貼り付けて保護者の考えるツールとして打ち出している。問題の多くは都市伝説に近い一方的な情報のみを判断材料にしている事だ。

村上栄二講演

広島県議会議員3年半の公約実現発表

村上栄二・南出賢一氏対談

1: 実現してきた仕事を見て南出市長が感じる事

2: コロナ禍により世界中でバラマキ政策を行った結果起きている現在を深堀する。

【政策は公平ではあるが平等ではないという事が多岐に渡って存在する。コロナ禍でバラまいたお金がいま世界で何が起きているのか？を一度落ち着いて考えそれぞれの未来にそれぞれが判断し決断する事が問われる時代になった】

賃貸マンション、月極駐車場
「空き」あります!

Consort homes

お問合せ

有限会社 DC 開発研究所
☎ 084-999-3166

〒720-0052 広島県福山市東町2-3-2